

検証 JR革マル浸透と組織私物化の実態！

民主化闘争情報[号外] 2010年6月21日 発行 日本鉄道労働組合連合会(JR連合) [No.125]

自民党議員「JR総連候補は革マル派の資金支援を受ける」と指弾！

報道によると、自民党は通常国会最終日の2010年6月16日に緊急記者会見を開き、国会で予算委員会が開かれた場合に質問を予定していた内容を公表した模様。この中で、赤澤亮正衆議院議員(鳥取2区)は「革マル派の資金支援を受ける公認候補」として、JR総連への革マル派の浸透問題と次期参議院選挙のJR総連組織内候補の民主党公認について追及する予定であったことが判明した。以下の会見資料によれば、予算委員会で委員長に事実関係を調査し、委員会で調査結果を報告するよう求める方針だったようだ。

革マル派の資金支援を受ける公認候補

(問)革マル派から資金支援を受けているJR組織内候補(=革マル派が浸透しているとされるJR総連の幹部、田城郁氏)を政権与党の公認候補とすることは不適當ではないか。

委員長への要求(予算委への調査結果報告)

赤澤議員が指摘する「革マル派の資金支援」とはどのようなことか。

前号で触れた鉄道福祉事業協会S元理事長らによる業務上横領被疑事件に関して警察が行った家宅捜索や差押えに対し、JR総連、福祉事業協会、鉄道ファミリー、事件の被疑者のS氏とY氏、東労組元会長の松崎明氏、家宅捜索や差押えを受けた25名の個人が原告になって提起した国家賠償訴訟は、2009年6月19日に一審で原告らの請求が棄却されたが、この判決文にはJR総連組織内候補のT氏と事件との関連を示す記述がある。

マンション手付金補助として公金358万円がT氏の個人口座に！

上記原告には、JR総連の前会長、現職の書記長や執行委員、東労組の現職の地本委員長など、JR総連や関連団体の組織の中心的メンバーが名を連ねているが、何と、次期参院選のJR総連組織内候補であるT氏も原告となっている。つまり、同氏が家宅捜索の対象となり差押えを受けていたことも間違いないようだ。

また、協会の口座を通じてS氏の個人口座に公金1億4888万7804円が振り込まれ、ここから私的な目的での入出金がされていたことはすでに紹介したが(「No.113」「No.114」参照)判決では、S氏の個人口座からはT氏の個人口座に358万円がマンション購入の手付金の補助のために振り込まれていたことも明らかにされている。判決の中で、被告の東京都、つまり警視庁側は「福祉事業協会、鉄道ファミリー及びさつき企画の役員のほとんどがJR総連又はその傘下労働組合の役員で占められており、いずれも革マル派に関係する」などと主張し、業務上横領被疑事件が「JR内革マル派による組織的犯行である」と述べている。赤澤議員は警視庁の見解に基づき、「JR内革マル派の組織的犯行の構図の中でT氏に資金が流れているとみて、「革マル派の資金援助」と指弾しているものと考えられる。

なお、判決の関係部分は以下の通り。「原告T」とはJR総連組織内候補のT氏のことだ。

第2 事案の概要 2.原告らの主張 原告Sは、本件S口座に振り込んだ1億4888万7804円のうち...(中略)...358万円を原告Tのマンション購入の手付金の補助に、...(中略)...それぞれ充てた。

第3.当裁判所の判断 1.認定事実 本件S口座からは、...原告JR総連執行委員の原告T個人名義の口座への入金も行われていたことが判明した。